

-YANMAR PREMIUM WATER FESTA 2018 in Biwako-

「YANMAR CUP in BIWAKO」では、 「万天」が36チームの頂点に！ 第2回 全日本ウェイクサーフィン大会」で 海外トップクラスの技が会場の観客達を魅了！

開催日時：YANMAR CUP in BIWAKO 【2018年5月20日(日) 10:00～18:00】

：第2回全日本ウェイクサーフィン大会 【2018年5月19日(土)/20日(日) 7:00～18:00】 (一般観覧者の開場：10:00)

開催場所：ヤンマーサンセットマリーナ (滋賀県守山市水保町1380)

YANMAR PREMIUM WATER FESTA 実行委員会は、「YANMAR PREMIUM WATER FESTA 2018 in Biwako」を、ヤンマーサンセットマリーナ(滋賀県守山市)にて5月19日(土)・20日(日)の2日間で開催いたしました。

本イベントは、「(一社)日本ウェイクサーフィン協会(以下、JWSA)」主催による「第2回 全日本ウェイクサーフィン大会 びわ湖シリーズ2018」と、セーリングのオープン競技会として長年親しまれている「YANMAR CUP in BIWAKO」の、異なる2競技を同日に開催したマリンスポーツイベントです。



当日、会場には約900名の方々にご来場頂き、飲食ブースや、スタンドアップパドル、スラックライン、ヨガなど家族で楽しめるコンテンツも沢山あり、DJがリゾート地を彷彿させる様な音楽を奏でるなど、終始盛り上がりを見せました。

■総合優勝に選ばれ、初優勝を飾ったチーム「万天」

「YANMAR CUP in BIWAKO」は、全長17フィート以上の艇の参加で琵琶湖北湖コースにてクルーザークラス及びレーサークラス合計36艇の参加で開催されました。表彰式では、京都府セーリング連盟会長 中西 金一郎様より、「(通常は楕円形や四角形のコースが多い中、)今回は大会を主催するYANMARのYの字を模したコースということでコース自体の難易度も高かった。そうした状況のなかでも各チームは趣向を凝らし、レースを盛り上げてくれた。」と総括コメントがありました。36艇で繰り広げられた激しいデッドヒートの中から見事総合優勝を勝ち取ったのは、初優勝の「万天」でした。MCから初優勝のインタビューを求められると「オーナー不在なんですけど…、良い報告ができると思います！」とコメントし、優勝商品とトロフィーを受け取りました。



■世界トップクラスの海外選手が魅せる技が会場を盛り上げる！

「第2回 全日本ウェイクサーフィン大会」は、海外のトップ選手達を招待し開催されました。会場内は、2日間に渡り全選手の競技が中継されており、出場選手が華麗な技を決めると会場のボルテージは最高潮に！表彰式では、プロフェッショナルメンサーフ部門とプロフェッショナルメンズキム部門の両部門で Keenan Flegel (キーナンフレゲル) 選手が優勝し、プロフェッショナルウーマンサーフ部門では、Lily Anderson(リリーアンダーソン)選手、プロフェッショナルウーマンズキム部門でCaro Villeneuve(キャロヴィルヌーヴ)選手が優勝しました。表彰式の最後には、大会総括を日本ウェイクサーフィン協会 代表理事 川崎 吉浩様より「前回約束した通り、今大会は(前回よりも)さらに大きく素晴らしい大会になった。しかしこれは『始まり』です。今大会では海外選手の実力を目の当たりにすることが出来たが、来年はぜひ日本の選手が表彰台の真ん中に立ち、プロライダーが生まれるように盛り上げていきたい。」と今後の思いを語りました。

— 本件に関するお問い合わせ —

YANMAR PREMIUM WATER FESTA 広報事務局PR事務局 (株式会社 マテリアル内)

TEL : 06-6456-4960 / FAX : 06-6456-4961 メール : osaka@materialpr.jp

担当 : 佐藤 (070-3621-8689) 吉岡(070-4575-3204)

セレモニー



守山市市長 宮本 和宏様



日本セーリング協会 代表理事 河野 博文様

表彰式前のセレモニーでは、守山市市長 宮本氏 和宏様、日本セーリング協会 代表理事 河野 博文様から、ご来賓のご挨拶を頂戴いたしました。

フラッグリレー



また、今回のYANMARCUPは2020年の東京オリンピックを盛り上げようとJSAFが主催している「フラッグリレー」に参加させていただきました。2017年5月に小笠原からスタートした「フラッグリレー」は、日本各地のヨットハーバーやマリーナを巡り、東京オリンピック・セーリング競技会場の江の島を最終寄港地として、東京オリンピックに対するセーラー達の想いをフラッグに込め、引き継いでいくものです。レース当日は、一艇の参加艇が代表してフラッグを掲げてレースに挑みました。表彰式後には次に開催されるヨットレース、「敦賀カップ」の関係者にフラッグが引き継がれました。

サイドコンテンツ



＜SUPヨガ＞

公認インストラクターによるスタンドアップパドルボード（SUP）ヨガの体験教室を開催いたしました。



＜YANMAR X39 Express Cruiserの展示＞

ボードが水上で展示され、贅沢な内装空間を堪能して頂きました。



＜ウィンチ・コンテスト＞

ボートのウィンチを用いて、車を移動させるコンテストを実施いたしました。



＜スラック・ライン＞

ベルト状の「ライン」に乗り、バランスを取ったり跳ねたりする欧米発のスポーツ体験ブースを御用意いたしました。



＜サッカー・ストラックアウト＞

子供たちも楽しく遊べるサッカー盤のストラックアウトのブースを用意いたしました。



＜各種キッチンカー＞

会場では、各種キッチンカーを御用意いたしました。

YANMAR CUP 2018 in BIWAKO 大会結果

総合優勝

チーム名：万天

所属マリナー：L.W.Y.C



クルーザークラス

1位

チーム名：ミニママ

所属マリナー：リブレ

2位

チーム名：風小僧 VI

所属マリナー：L.W.Y.C

3位

チーム名：Raccoon

所属マリナー：L.W.Y.C



レーサークラス

1位

チーム名：万天

所属マリナー：L.W.Y.C

2位

チーム名：

Wind Kiss Express

所属マリナー：ヤンマーM

3位

チーム名：Zauber

所属マリナー：M.雄琴



第2回全日本ウェイクサーフィン大会 大会結果

プロフェッショナル メン サーフ部門

優勝

名前：Keenan Flegel

国籍：アメリカ

2位

名前：Connor Burns

国籍：アメリカ

3位

名前：Jake Breedlove

国籍：アメリカ



プロフェッショナル メン スキム部門

優勝

名前：Keenan Flegel

国籍：アメリカ

2位

名前：Dominic Lagace

国籍：カナダ

3位

名前：Grant Witherell

国籍：アメリカ

【優勝者コメント】2部門通して優勝できたことは個人的にも思い出深く、すばらしいコンペティションになりました。初めての日本でとても有意義な大会だったと思います。また日本に来て競技したいです。

プロフェッショナル ウーメン サーフ部門

優勝

名前：Lily Anderson

国籍：カナダ

2位

名前：Angie Viland

国籍：アメリカ

3位

名前：Korinn Woodard

国籍：アメリカ

【優勝者コメント】素晴らしい大会でめちゃくちゃ楽しかったです！来年も必ず来たいです！



プロフェッショナル ウーメン スキム部門

優勝

名前：Caro Villeneuve

国籍：アメリカ

2位

名前：Nicole Hudson

国籍：アメリカ

3位

名前：Korinn Woodard

国籍：アメリカ

【優勝者コメント】素晴らしい時間を過ごせました。様々な人と競技が出来て、初めての日本で色々な国から、色々な人が居て、ウェイクサーフィンへの情熱で繋がっていました。風が強くても皆文句言わないし、とてもハッピーな時間でした。競技も素晴らしかったのですが、人との交流がすごく楽しかったので次回も参加したいです。



第2回全日本ウェイクサーフィン大会 大会結果

アマチュア メン サーフ部門

優勝：

名前：Mats Aderson（中央）

国籍：カナダ

2位

名前：Paul Laviolette（左）

国籍：カナダ

3位

名前：Kenta Hagiwara（右）

国籍：日本



【日本人入賞者コメント】

新鮮で楽しかったです。今回3位だったので、優勝するまで頑張りたいです。サーフィンとは練習方法が違うから、やり方と道具を変えていこうと思います。

ジュニア部門

優勝

名前：Evan Hudson（中央）

国籍：カナダ

2位

名前：Natsumi Yamashita（左）

国籍：日本

3位

名前：Riku Suzuki（右）

国籍：日本



【2位入賞者コメント】

いろんな選手が戦っていて刺激的でした。将来チャンピオンになれるように頑張りたいです。

【3位入賞者コメント】

今日は三人の中で一番下になってしまったけれど、これから頑張って次の大会は、1位になれるように頑張りたいです。